

1 知っておきたい防災学習のキーワード

●小学校で学んだキーワード

次の言葉の意味を覚えているかな？ わかる言葉に、○を付けてみよう！
忘れてしまった言葉は、もう一度、調べてみよう！

自助 心のケア 救急法	共助 家族会議 状況に応じた対応	公助 ボランティア	減災 サバイバル
-------------------	------------------------	--------------	-------------

●覚えておきたいキーワード

語り部	自分が体験した災害を忘れず過去の災害に対する教訓も学び、語り部となってそれらを語りついでいくことが、今後の私たちの役目です。
危険予測・回避能力	家や学校にいるとき、住まいから離れた場所にいるとき、どんなときでも自ら危険を予測し、回避する力を身に付けることが大切です。
災害心理	危機的な状況のときに思わず働いてしまう心理があります。それに惑わされず、的確に判断・行動することが求められます。
科学的知識	災害がどうして起こるのか、そのメカニズムを正しく理解しておくことは、いざという時の的確な判断と安全な行動に結び付きます。
率先避難者	「津波でんでんこ」の合言葉でたくさんの人々が助かりました。発災時には、避難を周囲に呼び掛けながら自分が率先して避難者となることが大切です。
社会への参画意識	中学生は支援・復興の大きな力として貢献することができます。地域と積極的に関わっていくことは、自分たちの成長にもつながります。

●避難所の状況

- ①避難者数（最大） 105,947名（平成23年3月12日11:30時点）
- ②避難所数（最大） 288か所（平成23年3月14日8:00時点）
- ③避難所最終閉鎖日 平成23年7月31日（宮城野区）

各地からの主な復興支援

- 20大都市災害時相互応援に関する協定に基づく派遣（延べ18,694名）
東京都、札幌市、新潟市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市（避難所対応、復興計画策定支援、物資搬送、応急危険度判定、災害廃棄物処理支援、し尿処理、ごみ処理等）
- 18大都市水道局災害時相互応援に関する覚え書き書による応援給水（延べ3,182名）
- 全国からの都市ガス応援 約4,000名
- 各都市からの行政職員派遣（罹災証明受付等被災者支援関係事務）
- 世界各国・地域、国内各都市からの人的・物的支援
- 陸上自衛隊による輸送支援・行方不明者搜索等
- DMAT（災害派遣医療チーム）医師 看護師派遣

2 東日本大震災の記録

1 地震の概要 P 26 参照

2 仙台市の被災状況（2015（平成27）年10月27日現在）

●人的被害

- ①死者 1,002名（男性 554名、女性 448名）
- ②行方不明 27名（男性 14名、女性 13名）
- ③負傷者 2,275名（重傷者276名、軽傷者 1,999名）

●建物被害

- ①全壊 30,034棟
- ②大規模半壊 27,016棟
- ③半壊 82,593棟
- ④一部損壊 116,046棟



仙台市内の東北地方太平洋沖地震による津波の浸水地域 ■ は、浸水した部分